

1. 日時：平成30年6月28日（木）10時～

場所：日出町役場 新館3階 331会議室

2. 出欠状況

【出席者】

会長 目代 憲夫 氏（日出町副町長）

副会長 土井 功 氏（日出町区長会長）

委員 清水準一郎 氏（国東観光バス株式会社専務取締役）

〃 中園千恵美 氏（日出町タクシー協会会長）

〃 漢 二美 氏（一般社団法人大分県タクシー協会会長）※赤嶺義美氏 代理出席

〃 蛭谷 憲治 氏（大分交通株式会社自動車部乗合課長）

〃 管 浩太郎 氏（杵築日出警察署交通課長）

〃 中尾 英樹 氏（大分県別府土木事務所次長兼企画調査課長）

〃 鈴木 邦彦 氏（大分県東部振興局地域振興部長）

〃 高倉 伸介 氏（日出町社会福祉協議会事務局長）

〃 阿部 孝 氏（日出町福祉対策課長）

〃 利光 隆男 氏（日出町健康増進課長）

〃 高原 哲 氏（アドバイザー：九州運輸局大分運輸支局首席運輸企画専門官）

事務局 木付、古屋、間部、一宮（政策推進課）

【欠席者】

委員 脇 紀昭 氏（一般社団法人大分県バス協会専務理事）

〃 財前 誠 氏（国東観光バス株式会社杵築営業所長）

3. 報告事項

(1) 平成29年度生活交通確保維持改善事業に係る乗車実績について

⇒承認（質疑無し）

(2) 平成29年度生活交通確保維持改善事業に係る事業評価について

⇒承認（質疑無し）

(3) 利用者等ニーズ調査結果について

⇒承認（質疑無し）

4. 協議事項

(1) 平成29年度決算報告について

⇒承認（質疑無し）

(2) 会計監査報告について

⇒承認（質疑無し）

(3) 日出町コミュニティバスに係るダイヤ改正について

⇒承認（質疑あり）

清水委員：藤原一北線で藤原小学校前にバス停を新設することとなっているが、現在の利用者はどの位いるのか？国東観光バスのバス停と距離が近く、影響が心配される。

事務局：現状、藤原小学校付近にバス停が無いので、周辺の利用状況は把握していないが、今回の改正では、藤原一北線のルート変更は行わず、バス停の新設のみの改正としており、あくまで発着時刻を明確にすることを意図したもの。それほど影響は無いと考えている。

清水委員：了承

高倉委員：今回の改正で統合新設される南端線は平道地区を経由しないこととなっている。現状、当該地区を経由する路線となっているが利用者はいるのか？

事務局：殆ど無い。平道地区には大分交通のバス路線の小浦のバス停が至近にあるので、そちらを利用頂きたいと考えている。土日を含めた毎日運行で、便数もコミバスよりも多い。

高倉委員：了承

高原委員：改正南端線での今畑、一の坂のデマンド対応について、どのように対応する予定か？

事務局：現時点では、当該区間においてダイヤに余裕を持たせることで対応したいと考えている。他市町村の実施状況等も研究したい。

高原委員：了承

(4) 日出町生活交通確保維持改善計画認定申請書の提出について

⇒承認（質疑無し）

(5) 平成30年度予算書（案）について

⇒承認（質疑・要望あり）

蛭谷委員：網計画の策定についてはどうするのか？

事務局：当該網計画の策定費用については、町予算に本協議会への負担金として措置されているが、国の補助制度の改正が本年4月に通知され、網計画策定によるフィーダー補助金の上限額の優遇措置が大幅に減退した。また、30年度に網計画の策定を行う場合は、全額単費で実施する必要がある。今回、本協議会予算には策定費用の計上は行っていないが、町発注の調査事業の実施も含めて取扱いを検討したい。

蛭谷委員：先ほど説明のあったニーズ調査結果についてご覧頂きたい。そこにあるように、辻間日出団地線等の一部系統においてダイヤ改正を行い、減便や短縮を実施している。これは、路線の収支の問題もあるが、それ以上に運転手不足が非常に深刻であり、必要な運転手が確保できず、減便せざるを得ない状況である。弊社としても、待遇改善や募集啓発等に力を入れているが、働き方改革等の

影響も強く、運転手の適正確保に本当に苦慮している。

運転手不足により路線の継続が困難となっている状況の中、事業者とすれば利用の少ない便から減便していかざるを得ない状況である。日出町からも補助金を頂いているものの、補助対象となっていない路線、満額交付されていない路線もある。

また、大分～国東間の国大線も国・県からの補助を頂いているが、それでも約4000万円の欠損が残存しており、非常に厳しい状況であり、今後、関係市町にも支援をお願いしていきたいと思っている。是非、網計画の策定を行い、こういった諸問題への対策について検討を行って欲しい。

赤嶺委員：タクシー業界においても運転手不足が非常に深刻化しており、営業所の維持が困難となっていて、運転手不足による労務倒産が各地で問題となっている。県内のタクシー運転手の平均年齢をみると63.3歳となっており、2年後には65歳を超えると想定されている。バスと同じくタクシーの運転手確保に向けて、ご協力を頂ければと考えている。

また、経営難も深刻化しており、地域のコミバスが充実すればするほど、今までタクシーを利用して頂いていたお客さんがコミバスに奪われてしまっており非常に厳しい。タクシーについては個別利用なので、バスのように補助金も出ない。障害者割引についても、事業者が全額負担している。

このままでは、営業所が地域から消えてしまう。無くなってからでは遅い。よく、コミバスの導入等により運行委託について相談されることがあるが、いきなり話をふられても運転手を配置できず受託が困難な場合がある。網計画に早く作って頂いて、早め早めに運転手の確保に向けて対策等をとって欲しい。

高原委員：網計画については交通政策基本法の趣旨にのっとり、今後維持可能な公共交通のネットワークの構築について、地域の住民のみなさまにしっかりとお約束をするもの。今出たような、様々な地域の課題を捉えて積極的に策定を進めて頂ければと思う。また、計画の策定もさることながら、何にも増して重要なのが、とにかく利用してもらうこと。公共交通の利用促進について、他市町村において先進的な取り組みを行っているところもあるので、よく研究して利用者が増えるよう利用促進に力を入れて欲しい。

(6) 今後のスケジュールについて

⇒承認（質疑無し）

以上

平成30年度第1回日出町生活交通確保維持協議会の概要を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名、捺印する。

平成30年6月28日

平成30年度第1回日出町生活交通確保維持協議会

会議録署名委員 利光 隆男



会議録署名委員 高倉 伸介

